

平成21年5月31日(日)

下宅部遺跡はっけんのもり 5歳のお誕生日会

ニュース

みんなで作ろう！
しまやけいせい
下宅部遺跡はっけんのもり

第94号【'09-5月号】

発行：下宅部遺跡
はっけんのもりを育てる会
東村山市諏訪町1-6-3
TEL：042-396-3800
発行日：平成21年5月13日



火おこし体験



アングイン編み体験

今年の「お誕生日会」は5月31日の曜日、午前1時からです。「下宅部遺跡はっけんのもり」で、火おこし・アングイン編み・石皿体験をしたり、縄文土器太鼓を打ち鳴らしてみましよう。縄文紙芝居や、土笛などのミニ野焼きも行います。もちろん、縄文スープの試食会もあります。メニューは、ニュース92号で紹介したドングリ団子汁です。早い者勝ちなので、昼時には必ず会場について

人気の弓矢体験は、今年は場所を変えて「八国山たいけんの里」で行います。たいけんの里オープンングイベントの時に延期になった「弓矢たいけんチャンピオン大会」も1時30分から開催します。

今年のお誕生日会は5月31日の曜日、午前1時からです。

ください。

人気の弓矢体験

は、今年は場所を変えて

「八国山たいけんの里」で行います。

たいけんの里オープン

ングイベントの時

に延期になった「弓

矢たいけんチャンピ

オン大会」も1時30

分から開催します。

「はっけんのもりを育てる会」とは？

下宅部遺跡を後世に残すためにつくられた遺跡公園「下宅部遺跡はっけんのもり」(所在地東村山市多摩湖町4丁目3番地)の管理・運営と、下宅部遺跡および考古学一般についての知識を広めることを目的としています。そのための具体的な活動としては、「下宅部遺跡はっけんのもり」の除草・清掃、縄文体験を行う「開園周年イベント「お誕生日会」と「東京都文

化財ネットワーク」参加イベント。縄文土器づくり教室とその時に作成した土器を焼く縄文土器の野焼き。日帰り研修見学会と宿泊研修。はっけんのもりの生物調査や縄文食の材料となるドングリ拾い。遺跡に関する専門家の先生を招いての講演会。そして会の運営のための会議などを行っています。また、有志による土器部会・アングイン部会があり、小学校への出前授業のお手伝いや、はっけんのもりの案内も行っています。



下宅部遺跡はっけんのもり案内図

はっけんの森を
育てる会 山中勝美

芝の育て方ポイント

草取り用具例.

1. 鎌
2. 板切りバサミ
3. 平バサミ
4. フマデ
5. 草取り



雑草と格闘するお二人にエールを！

鹿村光俊

はっけんのもりに来園された人たちが、安全で気持ちよく利用できるよう、開園からこのかた「はっけんのもりを育てる会」のボランティアメンバーが除草、ごみ拾い、トイレ清掃などを続けてきました。

そうした中、開園から5年が経過し特に最近では公園の芝が、踏み荒らされたりクローバーの繁殖で、壊滅寸前の状態です。

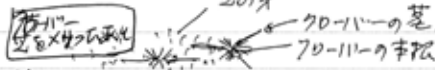
当に頭が下がる思いです。また除草のための道具や方法も研究されて、少しでも効率良く作業ができるよう、アドバイスもしてくれます。

公園を訪れるみなさん、お二人の姿を見たら、ひと言お礼の言葉をかけてあげてください。何よりの励みになるでしょう。そして「日本の歴史公園百選」に選定されたこのすばらしい公園を、みんなで大切に育てましょう。

1. クローバーの除去

1-1 クローバー、芝の混り合った所

板切りバサミを斜めに置き、手前より前方へ斜めに芝の地表、クローバーを根の7割ほどとる。

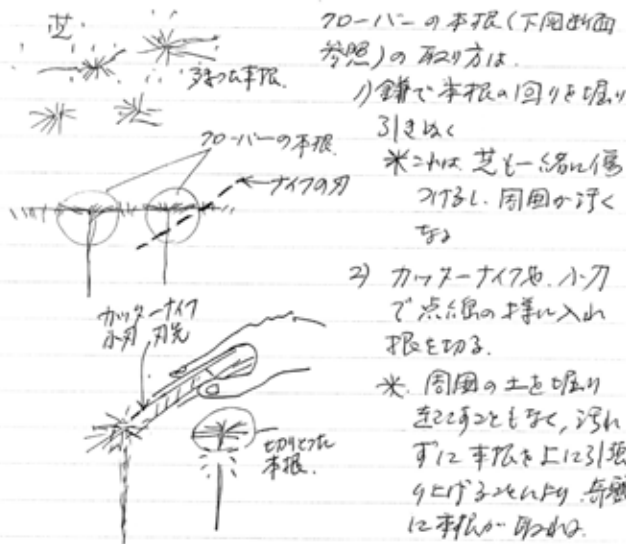


芝刈り後、クローバーの茎、根をしっかりと引き抜く。夏場は完全に乾かすまで根を抜かぬ。(刈りかたは芝の根の切り方を参照(1-3))

1-2 クローバーのみの所

1-1での芝の混りた部分があるのでクローバーの葉を刈りかたの根のみを取り除く。取り除いた後は早目の芝植えか。(3を参照)

1-3. 刈りかたの後の根の除去



この惨状を見かねて、このところ毎日のようにクローバーと格闘されているお二人を見かけた人も多いことと思います。近くにお住まいの山中さんと阿由葉さんです。月に二回の定期除草さえ、なかなか参加できない私には、お二人の情熱に本



土器の野焼き（報告）

高野宏峰

4月18日（土）、前日の雨があがって恵まれた天候の中、下宅部遺跡はっけんのもりにて縄文土器の野焼きを行いました。会員が作りためてきた土器や、3月29日（日）の「縄文土器づくり教室」に参加された方々の土器や土版などを一緒に焼き上げました。

育てる会での土器作りと野焼きは、現在は次のようなサイクルで行なっています。マキの搬入から展示の終了までは約1年かかる長丁場になります。マキの搬入↓下宅部遺跡の粘土こね



2009年4月18日の野焼き

↓土器作り・土器教室↓土器の乾燥
↓野焼き↓土器の展示

今日、点火にはタチアオイの種の殻を使い、苦労なく点火できました。前日の雨で地面が湿っていたため、まず焚火で地面をかわかすところからはじめました。このあと、私は八国山たいけんの里への物品搬入に借り出されたのですが、途中でマキが足りなくなりそつだとの連絡をうけ、その補充も行ないました。マキが燃え尽きた頃に土器を引き出し、土の上で皮手袋で持てるくらいまで冷やします。焼き上がった土器を完全にさますには、時間の関係もあって「水冷式」で行ないます。巨大なステンレス製のバケツを使って水に浸すことにより、大きめの土器も無事に冷ますことができました。

はっけんのもりで初めて野焼きをしたのは平成16年12月18日で、そのときはほとんどの土器が割れてしまいました。はっけんのもりの成長とともに、私たちの土器作り・野焼きの腕も上げることができました。むしろ搬入時の際などに、物理的に破損することを心配したのですが、万一他人の土器を割ってしまったときは、その人が責任を持って同様の作品を作り上げなくてはならないという暗黙の了解がなさ



慎重に土器を水で冷やす

れ、より慎重な作業が行なわれました。みごとに焼き上がった作品は、4月19・26日に八国山たいけんの里の展示ケースに並べられ、5月2日よりフリースタールの一角を飾っています。毎回恒例の縄文食は、たいけんの里開館準備などと重なって多忙になったため、今回は残念ながら実施できませんでした。以前は縄文食以外にも、火起し器での点火、除草した草を使った草木染め・縄文太鼓の音色をバックにした香炉型土器の点灯など、焚き火を効果的に使った取り組みがなされていたので、秋には可能なかぎり実施できればよいのではないかと思います。

育てる会

今後の予定

- 5月14日（水）午後1時30分から
アンギン部会（八国山たいけんの里）
- 5月16日（土）午前10時から
縄文体験塾（ふるさと歴史館）
- 5月23日（土）午前8時から
除草・清掃作業（はっけんのもり）
- 5月24日（日）午後1時30分から
縄文土器部会（八国山たいけんの里）
- 5月28日（水）午後1時30分から
アンギン部会（八国山たいけんの里）
- 5月31日（日）午前11時から
第85回育てる会「5歳のお誕生日会」
（はっけんのもり）
- 6月3日（水）午後7時30分から
定例検討会議（ふるさと歴史館）
- 6月7日（日）午後1時30分から
縄文土器部会（八国山たいけんの里）

研修見学会の参加者募集

6月21日（日）の研修見学会は、千葉県市川市の市川考古博物館・歴史博物館と船橋市飛ノ台史跡公園博物館です。一般募集もしますが、会員優先です。会員の方はなるべく6月7日（日）までにお申し込み下さい。